

ただいま議題となりました平成25年度高崎市一般会計予算、各特別会計予算、並びに関係諸議案のご審議をいただくにあたり、市政運営について、所信の一端と予算の概要についてご説明を申し上げ、議員の皆様をはじめ市民の皆様に、格別のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

我が国の経済は、長引くデフレからの脱却が最大の課題として、官民を挙げての取り組みが進められるようになり、幾分かの明るい見通しが語られるようになったとはいえ、依然として財政状況は、急速な少子高齢化により社会保障関係費が増加の一途をたどるなど、厳しい状況は続いております。

このような状況から、国においては、社会保障の安定的な財源の確保と財政健全化の同時達成を目指し、昨年8月に社会保障・税一体改革関連法の成立が図られたところであり、さらに年明けには、緊急経済対策の実施によるデフレからの早期脱却に向けた、大規模な補正予算と平成25年度予算を一体とした15ヶ月予算の編成により、機動的・持続的な経済活動が実施できるように措置されたところでございます。

本市の経済につきましては、震災後においても、市税収入は伸びている状況にありますが、デフレ状態が依然として続いておりますので、必ずしも楽観視できない状況にあるといえます。

こうしたことから、今後も引き続き、適切な対策を速やかに講じてまいり所存でございますので、皆様のなお一層のご協力をお願い申し上げます。

[国の予算と地方財政計画]

はじめに、平成25年度の国の一般会計予算でございますが、9兆2億6,115億円、前年度比2.5パーセントの増となっております。

税収は前年度比1.8パーセントの増、国債の発行額は前年度に比べ減額としたものの4兆2,000億円台と依然として高い水準にあり、公債依存度は46.3パーセントとなっております。

また、地方公共団体の予算編成の指針となる地方財政計画は、前年度比0.1パーセント増の8兆1,900億円となっております。

【本市予算の概要】

本市の平成25年度の一般会計予算でございますが、1,523億9,000万円、前年度に比べ0.6パーセントの減といたしました。

国の緊急経済対策などによりまして、平成24年度補正予算第8号において前倒しで実施することといたしました、小中学校の耐震補強事業や、道路整備事業、街路事業等を合わせますと、1,532億9,909万円となり、ほぼ前年並みの予算ということになります。

なお、一般会計、特別会計、企業会計を合わせた総額は、前年度比1.4パーセント減の2,461億2,765万円でございます。

予算編成にあたりましては、市民生活の安全・安心はもとより、新しいビジネスや産業・雇用の創出、個性を活かした地域振興策の推進、高崎都心部の活性化など、「新しい高崎」の理念と基本

政策の実現に向けた具体的な施策を積極的に展開していくことといたしました。

基本方針として、『徹底した事業費の削減』、『重点事業の積極的な推進』、『人件費の圧縮』の3つの柱を掲げ、限られた財源をいかに効率よく、いかに効果のある事業に配分していくかといった視点を重視し、予算編成に取り組んだところでございます。

〔歳入予算の概要〕

それでは、歳入予算の概要について申し上げます。

財政運営の根幹をなす市税収入については、前年度比0.2パーセント減の565億5,014万円を計上いたしました。

個人市民税は、前年度比0.6パーセント増の192億5,312万円、法人市民税は、前年度比11.3パーセント減の53億4,551万円を計上いたしました。

法人市民税の減額は、税制改正に伴う法人税率の引き下げによる影響が大きく、この減収分は、たばこ税で県から市に財源の一部が移譲となり、補てんされることになっております。

固定資産税は、前年度比1.2パーセント減の237億5,583万円を計上いたしました。

また、事業所税は実績を勘案いたしまして、前年度比17.3パーセント増の19億8,646万円といたしました。

地方譲与税および地方消費税交付金等については、実績や地方財政計画等を参考に積算して計上しております。

地方交付税のうち普通交付税については、地方財政計画などを勘案し、4.7パーセント減の143億円を計上いたしました。

国・県支出金は、歳出事業に対応する所定の額を計上してございます。

繰入金では、財政調整基金を29億6,000万円に抑え、減債基金から10億円、地域振興基金から3億8,845万円など特定目的基金を繰り入れ、事業に充当することといたしました。

市債につきましては、建設事業債では事業の緊急性や有効性等を考慮して前年度並みといたしました。臨時財政対策債では実績及び地方財政計画を参考にして、前年度比4.5パーセント増の70億円で見込みました。市債全体では2.6パーセント増の110億3,930万円といたしました。

ただ、平成25年度末市債現在高は、土地取得事業特別会計と合わせた普通会計ベースは、前年度に比べ約4億3,000万円の減額となります。

[歳出予算の概要]

続きまして、歳出予算の概要について、新規施策や主な事業を中心に、「新しい高崎」の基本政策に沿って申し上げます。

まず、『教育と人づくり』でございます。

子どもたちを健やかに、伸びやかに、個性豊かに育てるため、学校だけでなく地域社会で守り育てる環境を整えてまいります。また、安心して子どもを産み育てるための支援も行ってまいります。さらに、さまざまな世代が、多様な可能性に満ちた生き方が保障されるよう努めてまいります。

具体的施策でございますが、高崎に関する幅広い知識を問う高崎学検定を11月に実施いたしましたして、市民の幅広い郷土への関心を深め、学習の輪を広げ、未来のまちづくりにつなげていきたいと考えております。

校舎等の耐震化につきましては、優先的に実施し、早期完了を目指して取り組んでおります。平成24年度補正予算で小中学校9校の耐震補強工事の前倒しを行います。また、平成25年度では大半の学校で耐震補強設計が完了するようにいたします。

校舎等の建設事業では、塚沢小学校の校舎が完成するほか、東部小学校の屋内運動場、国府小学校と群馬南中学校はプールの建設に着手いたします。また、箕輪小学校の校舎、第一中学校の屋内運動場は設計を行ってまいります。

社会教育施設では、箕郷公民館の改修を行います。

市民のスポーツ施設では、現在建設を進めております^{きくち}菊地サッカー・ラグビー場（仮称）のグラウンドに人工芝を敷設、また、高橋養鶏場跡地には硬式対応の南部野球場（仮称）を建設いたします。また、城南野球場では、ラバーフェンスの張替えや防球ネットの改修などリニューアル工事を実施し、既存施設の有効活用にも取り組んでまいります。

また、市内の喫茶店あすなろを活用した、高崎経済大学のまちなか教育活動センターがオープンいたしますので、高崎経済大学の学生の経済活動実践の場とするとともに、まちなかに若者が相集う場とすることにより、中心市街地の活性化につなげていきます。

いと考えております。

次は、『産業の振興』でございます。

ますます激化する都市間競争に対応するためには、高崎の交通拠点性を活かした成長戦略が必要となります。新しい高崎をつくるために、高崎の企業が全国、世界を相手にした企業活動ができるようにしていきます。また、新しいビジネスや産業をつくりだし、さまざまな業務が集積し、雇用を生み出し、多くの人々が集まる都市づくりに取り組んでまいります。

農業施策では、本市の安全でおいしい農畜産物を県内外に積極的にピールするため、ぐるなびなどを活用した地産多消推進事業を継続して実施いたします。

有害鳥獣による農作物への被害が年々拡大していることから、その対策として、鳥獣が出没しづらい環境を整える地域の取り組みに対し支援する、里山元気再生事業の創設と、鳥獣の適切かつ確実な処分に対し支援を行う、有害鳥獣捕獲処分費の拡充を実施してまいります。

商工業施策では、新規事業といたしまして、全国の都市の政策と比較しても画期的となる、まちなか商店リニューアル助成金を創設いたしまして、店舗の改装などで魅力を高め、集客力の向上を図ろうとする商店にその費用の一部を補助し、まちの活性化につなげていこうというものでございます。

また、大阪で開催される食の博覧会へ出展・参加し、高崎の物

産や農産物など、積極的にアピールしてまいります。

昨年度から始めた本市独自の経済施策であります、小口資金融資保証料補助の全額補助制度、創業者融資保証料の全額補助と利子補給制度、中小企業等機械設備導入支援制度、中小企業経営安定化助成金、また、住環境改善助成事業などは、多くの方にご利用いただき好評を得ておりますので、今後も引き続き実施してまいります。

同じくビジネス活性化緊急対策として実施した、ビジネス立地奨励金や産業立地奨励金は、他の市町村と比較しても非常に優位な制度として問い合わせも多く、強い関心をいただいております。平成25年度末までには、スマートインターチェンジの開通も予定されておりますことから、ビジネス誘致キャンペーンによる情報発信など幅広く展開してまいります。

これらの施策をあわせて推進することにより、今後も積極的に企業誘致や地元企業の新しい展開への支援に努めてまいります。

次は、『文化と歴史を活かした創造的な高崎』でございます。

芸術や文化は、市民生活や産業経済活動、地域社会のあり方に大きな影響をもたらすものでございます。高崎が持続的に発展していくためには、文化と産業が相乗的な効果を発揮する取り組みが必要でございます。本市のもつ優れた芸術・文化活動、歴史・文化遺産を活かした創造的な高崎をめざしてまいります。

芸術・文化活動では、「音楽のあるまち高崎」の更なる発展、音楽でのまちづくりの推進のため、高崎サウンド創造活動補助と

して、音楽創造活動の拠点を整備し、市内はもとより全国の音楽を志す若者が高崎に相集うようにし、この事業の推進により市内外の若い世代に高崎が強くアピールされていくものと考えております。

歴史的価値のある文化資産の修復等に助成を行う、伝統芸能備品等修繕費補助のほか、新たに、歴史的な価値があり、良好な景観を形成する建物の保全や活用を図るため、歴史的景観建造物の修復補助を創設いたします。

また、「日高遺跡」や「箕輪城跡」等の保存整備を継続して実施してまいります。

次は、『やさしい眼差しに満ちた市政』でございます。

子どもやお年寄り、障害のある人、仕事をしながら子育てをする皆さんが、安心して暮らせる都市でなければなりません。経済や産業活動を発展させ、人が集まる活力ある都市にしていくと同時に、支えが必要な人や守っていくべき人たちへの「やさしい眼差しに満ちた市政」を進めてまいります。市民一人ひとりが人間としての尊厳と、さまざまな生き方が保障される地域社会をつくらせてまいります。

子育て支援対策といたしまして、子育て世代からの強い要望に答えるため、保育所において、途中入所を希望する子どもの受入れにすぐに対応できるように措置していきたいと考えております。

そのため、私立保育所について、入所待機解消支援事業を新設

し、年度当初から保育士を雇用する経費を補助することで、年間を通して子どもの受入れが可能な体制を整えてまいります。

また、私立幼稚園では、発達障害を持つ子どもを受入れた際の負担を軽減するため補助制度を拡充し、教育環境の充実が図れるようにしてまいります。

支所地域では、お年寄りの通院や高校生などの通学で中心市街地に出てくるためには、多額の出費が生じておりますので、移動支援策といたしまして、倉渕地域の高齢者の通院に対する移動支援補助と倉渕・榛名地域において公共交通機関を利用して遠距離通学をする高校生等への通学支援補助を創設して、費用負担の軽減を図ってまいります。

高齢者福祉では、買い物弱者「ゼロ」を目指す高齢者買い物支援事業を拡充し、市内の多くのボランティア団体等と連携・協力しながら、買い物送迎支援や見守りを兼ねた買い物代行業業に新たに取り組んでまいります。

障害者福祉については、必要な経費を措置し、障害者が安心して暮らせるサービスの提供に努めていきます。

施設整備といたしましては、吉井総合福祉センター（仮称）と吉井保育所の建設を行っておりますが、平成25年度中には完成いたします。また、老朽化した箕郷第三保育園の建設に着手してまいります。

地域医療の整備につきましては、救急医療におけるいわゆるタライ廻しの状況を改善するため、救急医療体制緊急改善対策を実施してまいります。

これは、地域医療の連携強化促進や救急医の確保、救急患者の受入れ促進、救急医療情報システム等の運用支援、また、休日在宅当番医に外科系の診療科目を追加することなどにより、地域医療の充実、強化を図っていかうというものでございます。

また、不妊に悩む夫婦の経済的かつ精神的な負担を軽減する施策といたしまして、一般不妊治療費助成及び特定不妊治療費助成の両制度の上限額について引き上げを実施してまいります。

次は、『合併した地域の個性を活かした魅力づくり』でございます。

合併した倉渕・箕郷・群馬・新町・榛名・吉井地域のそれぞれの個性を大切にしていけます。合併により本市は、豊かな農業生産と森林資源を持つ都市になり、新しい貴重な産業を有することになりました。農林業の基盤整備に取り組むとともに農林業と観光及び地産多消との結びつきを強める振興策を推進してまいります。

小栗の里整備につきましては、平成26年度のオープンを目指して拠点施設の建設を行ってまいります。市民が親しみやすく、利用しやすい施設にしてまいりたいと考えております。

榛名山を舞台としたスポーツイベントといたしまして、榛名山ヒルクライム in 高崎を5月18・19日の2日間にわたり開催いたします。また、7月には榛名湖トライアスロン、11月には（仮称）榛名湖マラソンがそれぞれ開催する計画が進んでおりますので、これらのイベントを契機に本市の持つ魅力を全国に大い

に発信していきたいと考えております。

農林業の基盤整備では、農業用道水路の整備のほか、榛名南麓広域営農団地農道整備、林道整備などの事業を進めてまいります。

また、ブランド商品開発事業補助を創設し、地域の持つ農畜産物などを活かして、新品種や新商品の開発等に取り組む団体に対する支援をしてまいります。

次は、『安心・安全な地域社会づくり』でございます。

健全な地域社会をつくるためには、地域のことは地域で解決していく住民自治の確立が必要だと考えます。地域と住民の安心・安全を守り、皆で支え合う地域社会をつくっていくために、福祉・介護、生活環境、教育文化など幅広い分野での地域の活動を支援してまいります。

地域のコミュニティの場となっている住民センターについては、新築や改修などの要望が多数寄せられておりますが、自治総合センターからの助成金を財源としていた従来の補助では、住民の負担が大きく、なかなか整備が進まない状況がございましたので、本市独自に補助の内容を拡大し整備が進められるようにいたします。

エネルギー施策といたしましては、町内会や商店街が実施する省エネルギー型街路灯の設置や更新に対する助成に対して、極めて多数に上る要望に応えられるよう、予算を大幅に増額いたしまして、より一層整備が進められるようにしてまいります。

また、市内事業所に対しましては、太陽光発電設備を設置する

事業所に補助する制度を創設いたしまして、再生可能エネルギーの普及推進につなげていきたいと考えております。

家庭向け太陽光発電システム設置に対する補助につきましても、継続して実施してまいります。

新斎場建設につきましても、敷地造成工事を行ってまいります。

八幡霊園では、今後墓地の不足が見込まれることから、敷地を拡張するため、用地買収を進めてまいります。

このほか、学校や焼却施設での放射線測定など、市民の不安を少しでも取り除くなど、安心・安全に向けた取り組みを引き続き実施してまいります。

ねこの不妊・去勢手術に対する補助につきましても、効果が上がっていることから、予算を増額して対応してまいります。

次は、『大勢の人が歩き、賑わう街』でございます。

高崎のまちなかの都市基盤は整備されてきましたが、高崎の街の人出をもっと増やしていく必要があると考えております。街にいつも多くの人が歩き、賑わいがあり、元気いっぱいの街になるような仕組みをつくってまいります。

まちなかの回遊性向上と賑わいの創出につなげるため、まちなかコミュニティサイクル運営事業とまちなかオープンカフェ推進事業を高崎商工会議所と連携・協力しながら、新たに展開いたします。

まちなかコミュニティサイクル運営事業は、自転車の無料貸出

を行うもので、100台の自転車と中心市街地に12ヶ所のポートを設置して、買い物等で使用する人達が自由に乗り降りできるものとしたします。

まちなかオープンカフェ推進事業は、道路空間を利用して店舗を展開することで、まちを訪れる人達が気軽に立ち寄れる憩いの場を創出するものとなっております。

また、高崎観光協会への支援を強化いたしまして、事務所をまちなかに移すとともに、本市の観光資源や観光に関する情報発信を充実させていきたいと考えております。

人々の交流と創造の拠点となる都市集客施設の整備につきましては、基本設計に取り組んでまいります。新体育館の建設では、基本・実施設計を行ってまいります。

都市集客施設等建設基金は、昨年度に引き続き20億円を積み立てることとしたしまして、建設時の財政負担の平準化に向けて備えてまいります。

本市の拠点性と交通の利便性をさらに高める、スマートインターチェンジの整備や高崎駅東口駅前広場の再編成を進めるとともに、物流等に関する調査も行なってまいります。

また、区画整理事業や街路事業等についても、継続して実施し、都市基盤の整備を推進してまいります。

道路改良事業や橋りょう長寿命化事業、浸水対策事業など、予算を増額いたしまして、道水路の安全性・利便性の向上にも積極的に取り組んでまいります。

高崎公園・烏川緑地間人道橋整備事業並びに上佐野地内に整備する上信電鉄南高崎駅・根小屋駅間新駅設置事業は、平成26年度の完成を目指して整備を進めてまいります。

[特別会計の概要]

次は、特別会計でございますが、国民健康保険事業特別会計におきましては、医療分について保険税率の引き下げを行います。幅広い世帯で引き下げの効果が現れるように検討いたしました。

介護保険特別会計では、被保険者数が増加しておりますことから、保険給付費を増額して計上しております。

そのほかの特別会計につきましては、事業の円滑な運営が行えるよう、それぞれ所要の経費を措置してございます。

次に、公営企業会計でございますが、上下水道事業につきましては、公営企業として健全な財政運営を行い、将来世代への負担の軽減に配慮した予算編成に努めました。

水道事業につきましては、水需要の低迷による厳しい事業運営が続いておりますが、経営の効率化・健全化をさらに進め、「良質な水道水の安定供給」の継続に努めてまいります。

管網整備事業として、配水幹線の複線化、石綿セメント管や老朽管の更新を行い、災害に強いライフラインの確保に努めていくとともに、各浄水場の設備更新なども効果的・効率的に実施してまいります。

下水道事業につきましては、快適で安全な生活環境の確保や河

川・湖沼の水環境保全のため、引き続き各地域における下水・雨水の管渠整備を実施してまいります。

管路及び各水処理施設につきましては、必要とする修繕や長寿命化計画に基づく施設改良を行い、施設の延命化を図り、適切な維持管理に努めてまいります。

また、原発事故を起因とする放射性物質を含む浄水発生土や下水汚泥の処理及び管理につきましても、昨年度に引き続き万全を期し、安全確保に努めてまいります。

今後とも、現行料金体系をできる限り維持できるよう、営業費用や企業債の抑制に努め、将来にわたる財政の健全化と安定した経営基盤の確立を目指してまいります。

[結 び]

以上、市政運営についての所信の一端と予算の大要についてご説明申し上げましたが、私は、財政の健全性を確保しつつ、同時に高崎が都市として、さらに成長・発展していくために、エキサイティングなまちづくりを進め、積極的かつ全力で取り組んでいく所存でございます。

なお、予算の細部につきましては、財務部長から、その他の議案につきましては担当部長からそれぞれ説明させますので、よろしくご審議のうえご賛同賜りますようお願い申し上げまして、提案説明とさせていただきます。